

平成31年度

当初予算(案)主要施策・事業補足資料

平成31年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料一覧

補足資料 ページ 予算案概要 掲載ページ

I 中四国をリードし、活力と創造性あふれる「経済・交流都市」

1. 地域経済の活性化による、魅力と活力あふれるまちづくり

新規	● 稼ぐ力強化のための医療・福祉関連産業支援事業	1	7
拡充	● 中小企業活性化事業・創業支援事業	2	7
新規	● 「おかやま・スタートアップ支援拠点」支援事業	3	7
拡充	● 企業立地推進事業	4	7
新規	● プレミアム付商品券発行事業	5	8
拡充	● 歩いて楽しいまちなかの回遊性向上と賑わいづくり	6	8
	● まちなかの魅力や賑わいをつなぐ公共交通の利便性向上 (路面電車の乗入れ等)	7	8
拡充	● 市街地再開発事業の促進	8	8
	● 活力ある農業の振興	9	9
拡充	● 農作物被害対策事業	10	9
拡充	● 日本遺産活用推進事業	11	9
	● 中山間・周辺地域等稼ぐ力創出事業	12	9
	● 地域の未来づくり推進事業	13	9
拡充	● 移住・定住の促進	14	9
新規	● 移住支援金支給事業	15	9

2. コンパクトでネットワーク化された快適で多様なまちづくり

拡充	● 地域おこし協力隊事業	16	10
	● 岡山西部総合公園(仮称)整備事業	17	10
	● 地域公共交通網形成計画策定事業	18	10
	● 鉄道の利用環境改善(桃太郎線LRT化)	19	10
	● 路面電車のネットワーク化検討	20	10
拡充	● 新たな生活交通の確保	21	11
	● 自転車先進都市の推進	22	11
	● 道路ネットワークの充実・強化	23	11
	● 斎場整備事業	24	11

3. 歴史と文化が薫り、誇りと一体感の持てるまちづくり

	● 岡山芸術交流2019 (Okayama Art Summit 2019)	25	12
	● 岡山城の魅力アップ	26	12
拡充	● 「岡山歴史のまちしるべ」の設置事業	27	12
拡充	● 岡山芸術創造劇場(仮称)の整備	28	12
	● トップチーム支援事業	29	12
拡充	● 東京オリンピック・パラリンピック等の推進	30	12

II 誰もがあこがれる充実の「子育て・教育都市」

4. 安心して子育てができ、若者や女性が輝くまちづくり

	● 子育て環境の施設整備推進事業	31	13
拡充	● 保育士確保対策	32	13
拡充	● 障害のある子どもの保育の質の向上	33	13
拡充	● 放課後児童健全育成事業	34	13
新規	● 産後母子支援事業	35	14
拡充	● 困難を抱える子どもとその家庭への支援	36	14
拡充	● 女性が輝くまちづくり事業	37	14
拡充	● 学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト	38	14

5. つながる教育で未来を拓く人材を育むまちづくり

拡充	● 学力向上・魅力ある授業づくり推進事業	39	15
	● 問題行動等の防止及び解決に向けた総合支援事業	40	15
	● 適応指導教室整備事業	41	15
	● 教職員の働き方改革事業	42	15
	● 公民館整備・耐震化事業	43	15

6. 理解を深め合い、ともに築く市民主体のまちづくり

拡充	● SDGs未来都市・岡山ESDプロジェクト推進事業	44	16
	● 区まちづくり独自企画事業	45	16
	● 岡山市・サンホセ市姉妹都市締結50周年記念事業	46	16

Ⅲ 全国に誇る、傑出した安心を築く「健康福祉・環境都市」

7. 住み慣れた地域で安心して暮らせる健康・福祉のまちづくり

拡充	● 健康づくりと生涯活躍推進事業	47	17
新規	● フレイル対策事業	48	17
拡充	● 在宅介護総合特区推進事業	49	17
新規	● 成年後見中核機関運営事業	50	17
新規	● 小児遠隔健康医療相談事業	51	18
拡充	● 心身障害者医療費助成事業	52	18
拡充	● ふれあい収集事業	53	18

8. 地域の力をいかした災害に強く安全・安心なまちづくり

拡充	● 防災・減災対策事業	54	19
拡充	● 下水道・河川による浸水対策事業	55	19
拡充	● 農林水産業施設等の復旧・防災力強化	56	19
拡充	● 消防防災体制の強化事業	57	19
	● 緊急情報伝達手段の整備事業	58	19
	● 本庁舎等整備基本計画策定事業	59	20
拡充	● 消防署所適正配置事業	60	20
	● 市場耐震改修整備事業	61	20
	● 水道施設・管路耐震化等更新事業	62	20
	● 下水道施設の耐震化・再構築(リノベーション)事業	63	20
新規	● Net119緊急通報システム整備事業	64	21
拡充	● PA連携活動高度化推進事業	65	21
新規	● 第48回全国消防救助技術大会事業	66	21
新規	● 防犯カメラ設置支援事業	67	21
拡充	● ブロック塀安全対策事業	68	21

9. 豊かな自然と調和した市民の手による持続可能なまちづくり

	● 地球温暖化対策推進事業	69	22
	● ごみ処理広域化対策事業	70	22
	● ごみ処理施設運營業務の効率化	71	22
	● 下水道未普及対策推進事業	72	22
	● 合併処理浄化槽設置補助金事業	73	22

3つの将来都市像実現のベースとなる都市経営の視点

10. 圏域をリードし、都市の持続的発展を支える都市経営

新規	● G20保健大臣会合開催事業	74	23
新規	● 政令指定都市移行10周年・市制施行130周年記念式典	75	23
	● 市民サービス拠点の整備	76	23
新規	● 市税所得課税証明書コンビニ交付対応事業	77	23

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 稼ぐ力強化のための医療・福祉関連産業支援事業 新規

1 事業の趣旨

岡山市の医療・福祉分野の強みをいかし、関連産業において、海外を含む経済圏域外(岡山県外を想定)から稼いでくる力を持つ事業者を増やし、地域を牽引する中枢中核都市としてさらなる本市経済の強化に向け、医療・福祉関連事業者の販路拡大を支援します。

2 事業内容

(1) 専門家によるハンズオン支援

販売計画の策定・ブラッシュアップ、販路拡大における課題解決について、専門家を派遣し、事業者に寄り添った支援を実施

(2) 販路拡大支援補助

圏域外への展示会等に出展する際の小間料等に対する補助を実施

(3) 販路拡大に資するセミナー

圏域外進出における課題やその解決方法に関する実務的なセミナーを開催

3 事業費

(1) 歳出額 5,000 千円

(2) 財源内訳

・一般財源 5,000 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

(今年度当初要求額 ー 千円)

担当課名	産業観光局商工観光部産業政策課
担当者名	課長 板野 直孝
電 話	内線 4515
	直通 086-803-1342

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 中小企業活性化事業・創業支援事業

拡充

1 事業の趣旨

市内中小企業者が、今日の厳しい環境に対応・発展していくため、各種セミナー等を開催して経営者等の意識改革を行うとともに、創業や設備投資、商工団体への助成、専門家による相談事業を行います。

2 事業内容

(1) 創業・起業支援事業

・起業家塾・創業セミナー等

(2) 中小企業BCP(事業継続計画)策定支援事業 【新規】

・BCP計画策定支援を通じて企業の共助の仕組みづくりを促進

(3) 岡山市地域貢献企業表彰制度の創設 【新規】

・地域の発展・活性化に貢献している小規模・中小企業を表彰

3 事業費

(1) 歳出額 62,460 千円

(2) 財源内訳

・一般財源 62,460 千円

(前年度当初予算額 69,500 千円)

(今年度当初要求額 72,345 千円)

担当課名	産業観光局商工観光部産業振興・雇用推進課
担当者名	課長 河田 雅博
電 話	内線 4520
	直通 086-803-1325

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 「おかやま・スタートアップ支援拠点」支援事業 新規

1 事業の趣旨

新事業の創業・起業に関心がある多様な人々が、気軽に立ち寄り、交流し必要な情報や機会を得ることができる拠点運営を支援することで、市内に創業・起業を目指す母集団の形成・拡大を図ります。

2 事業内容

(1)「おかやま・スタートアップ支援協議体(仮称)」

- ・民間主体で活動する創業・起業支援のための協議体の設立
- ・市内金融機関、企業、市で構成(予定)

(2)スタートアップ支援拠点の整備支援

- ・コワーキングスペース、多目的スペースを有する交流拠点の整備支援(岡山駅近隣を検討)

(3)協議体活動支援

- ・スタートアップ関係交流会、事業アイデア発表会
- ・アイデア募集し実施する育成プログラム等
- ・先輩起業家とのサークル活動等の支援
- ・土業、支援機関、大学、行政等との交流機会提供

3 事業費

(1)歳出額 15,000 千円

(2)財源内訳

- ・国庫支出金 7,500 千円
- ・一般財源 7,500 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

(今年度当初要求額 ー 千円)

担当課名	産業観光局商工観光部産業振興・雇用推進課
担当者名	課長 河田 雅博
電 話	内線 4520
	直通 086-803-1325

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 企業立地推進事業 **拡充**

1 事業の趣旨

中四国の結節点、自然災害の少なさ等、本市の優位性を活かして企業誘致を促進し、地域経済の活性化と雇用創出につなげます。また、地域を牽引する中枢中核都市として、事業規模の拡大を図る市内企業などに対し支援策を拡充します。

2 事業内容

(1) 企業誘致促進事業

- ・製造工場等を立地する企業に対し奨励金を交付

(2) 都市型サービス産業推進事業

- ・コールセンター等を立地する企業に対し補助金を交付

(3) 企業誘致ターゲット拡充事業

- ・本社、本社機能、中四国支店等広域的拠点を立地する企業に対し補助金を交付
- ・外資系企業を含む医療・福祉関連企業の誘致に向けたニーズ調査【新規】
- ・本社機能強化のために本社を新增設する市内本社企業に対し補助金を交付【新規】

(4) 再投資・拠点強化促進事業

- ・統合・集約による拠点強化及び機能強化を行う市内既存工場等に対し補助金を交付
- ・生産性向上・職場環境改善に必要な設備投資を補助対象に追加【新規】

(5) 物流施設誘致促進事業

- ・物流施設を立地する企業に対し奨励金を交付

3 事業費

(1) 歳出額 339,500 千円

(2) 財源内訳

・一般財源 339,500 千円

(前年度当初予算額 132,700 千円)

(今年度当初要求額 339,543 千円)

担当課名	産業観光局商工観光部産業政策課
担当者名	企業立地推進担当課長 小山 直人
電 話	内線 4516
	直通 086-803-1328

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 プレミアム付商品券発行事業

新規

1 事業の趣旨

消費税・地方消費税率引き上げによる低所得者・子育て世帯の消費への影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えするため、プレミアム付商品券の発行を行います。

2 事業内容

- ・対象者 約140,000人
 ①2019年度市民税非課税者
 ②3歳未満の子が属する世帯の世帯主(6/1現在)
- ・購入限度額 券面額2.5万円(販売額2万円)
 ※上記②の場合、2.5万円×3歳未満の子の数
- ・割引率 20%(プレミアム補助額5千円)
- ・申請手続等 7月頃から受付予定
- ・使用期間 2019年10月～2020年2月(予定)

3 事業費

(1)歳出額	964,755 千円
(2)財源内訳	
・国庫支出金	964,755 千円

(前年度当初予算額) ー 千円)

(今年度当初要求額) ー 千円)

担当課名	産業観光局商工観光部産業振興・雇用推進課
担当者名	課長 河田 雅博
電 話	内線 4520
	直通 086-803-1325

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 歩いて楽しいまちなかの回遊性向上と賑わいづくり

拡充

1 事業の趣旨

まちなかの回遊性向上や賑わいづくりに向け、県庁通りの道路空間再編や官民連携による道路空間活用の検討、旭川を中心とした賑わいの拠点づくりに取り組みます。

2 事業内容

(1) 県庁通り歩いて楽しい道路空間創出

- ・道路空間の再整備(歩道の拡幅、車道の1車線化、自転車走行空間の確保等)【拡充】
- ・道路空間活用のルールや組織づくりの検討
- ・賑わいづくりに携わる民間事業者等の発掘・育成

(2) 旭川かわまちづくり

- ・賑わい創出に資する事業を継続するとともに、将来の常設化に向けた課題抽出などを行うため、コンテナを活用した民間事業者による屋外カフェを実施
- ・旭川さくらみちの桜並木の保全

3 事業費

(1) 歳出額 584,070 千円

(2) 財源内訳

- ・国庫支出金 209,000 千円
- ・地方債 188,100 千円
- ・一般財源 186,970 千円

(前年度当初予算額 18,500 千円)

(今年度当初要求額 587,398 千円)

担当課名	都市整備局都市・交通部庭園都市推進課
担当者名	課長 兒子 憲人
電 話	内線 3681
	直通 086-803-1395

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 まちなかの魅力や賑わいをつなぐ公共交通の利便性向上
(路面電車の乗入れ等)

1 事業の趣旨

まちなかの魅力向上やにぎわい創出を図ることを目的に、回遊性の向上、ひいては中心市街地の活性化に資するよう、公共交通の利便性向上を図ります。

今後の高齢社会の進展を見据えると、公共交通の充実喫緊の課題であり、路面電車の岡山駅前広場への乗入れは、市民はもとより来訪者の利便性向上や中心市街地での回遊性向上につながります。

岡山駅前広場で路面電車に直接乗入れができるようになると、高齢者や車椅子、ベビーカーの利用者などにとってもバリアフリーの観点から利便性が向上します。

2 事業内容

路面電車の岡山駅前広場への乗入れに係る基本設計に取り組みます。

また、誰もが使いやすい都心内の交通手段である路面電車の利用環境向上のため、既存施設の補修費用等に対する補助も行います。

(1) 路面電車の岡山駅前広場への乗入れに係る基本設計

(2) 路面電車の既存施設の補修費用等に対する補助

3 事業費

(1) 歳出額 166,495 千円

(2) 財源内訳

・国庫支出金 49,999 千円

・一般財源 116,496 千円

(前年度当初予算額 163,500 千円)

(今年度当初要求額 166,527 千円)

担当課名	都市整備局都市・交通部交通政策課
担当者名	課長 山本 孝賢
電 話	内線 3620
	直通 086-803-1376

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 市街地再開発事業の促進 拡充

1 事業の趣旨

近年、活発な市街地再生の動きにより、人口の都心回帰の動きも見られますが、依然として駐車場等の低・未利用地が多く分散しており、全体として土地の高度利用と都市機能の更新が進んでいません。市街地再開発事業による民間活力を後押しすることにより、高次都市機能や居住機能の充実・強化を図ります。

2 事業内容

市街地再開発組合等が施行する再開発事業に対して、良好な都市環境や賑わいを創出するための助言・指導と補助金による支援を行います。

対象地区:表町三丁目10番11番23番24番地区

対象地区:野田屋町一丁目2番3番地区

対象地区:駅前町一丁目2番3番4番地区 【新規】

対象地区:蕃山町1番地区 【新規】

3 事業費

(1)歳出額 1,733,646 千円

(2)財源内訳

・国庫支出金 863,883 千円

・地方債 499,600 千円

・一般財源 370,163 千円

(前年度当初予算額 1,387,000 千円)

(今年度当初要求額 1,733,812 千円)

担当課名	都市整備局都市・交通部市街地整備課
担当者名	都市再開発担当課長 柳 徳見
電 話	内線 3651
	直通 086-803-1378

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 活力ある農業の振興

1 事業の趣旨

農業を継続できる環境づくりと競争力強化のため、担い手の確保・育成、農地の集積・集約による経営の効率化、岡山産農産物の販路開拓・拡大に向けた取り組み等を推進します。
また、多様な農業の維持・拡大を図るため、生産基盤の確保・強化に取り組みます。

2 事業内容

(1) きめ細やかな新規就農サポート体制の構築

・新規就農者、UIターン農業者に対し、農地、経営資金、技術等の課題を解決するための就農相談等による支援及び助成

(2) 経営改善に取り組む意欲ある農業者への支援

・生産拡大に向けた設備導入や省力化機械・施設等の整備に対する助成
・畜産農家の収益向上に資する施設整備等に対する助成
・新規就農者への農地貸付者に対する助成
・農地中間管理機構を通じた農地集積に対する助成
・次世代農業支援(農業者と企業等の連携による新たな取り組みに対する助成)

(3) 販路開拓・拡大、ブランド化に向けた支援

・岡山産農産物の情報発信や販売促進活動を実施
・生産者団体等の販売促進経費に対する助成

3 事業費

(1) 歳出額 1,070,265 千円

(2) 財源内訳

・県支出金 1,017,356 千円
・その他 375 千円
・一般財源 52,534 千円

(前年度当初予算額 147,030 千円)

(今年度当初要求額 1,071,740 千円)

担当課名	産業観光局農林水産部農林水産課
担当者名	課長 小坂 正樹
電 話	内線 4540
	直通 086-803-1346

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 農作物被害対策事業

拡充

1 事業の趣旨

イノシシ等有害鳥獣の出没報告が多くなってきており、農作物等の被害の拡大が懸念されていることから、被害の実態や生息状況を把握し、野生鳥獣が出没しにくい環境整備の啓発や侵入防止柵の整備助成、捕獲柵(檻)の設置助成、捕獲活動を行う駆除班の活動支援、捕獲奨励金の交付を行うことで、総合的な対策を図り、野生鳥獣による農作物等の被害の軽減を目指します。

2 事業内容

- (1) 農作物被害防止柵の設置支援事業
- (2) 有害鳥獣捕獲柵設置支援事業【拡充】
 - ・対象鳥獣種の追加、上限額拡充(一部)
- (3) 有害鳥獣捕獲支援事業【拡充】
 - ・イノシシ、シカ等の捕獲に対する助成(対象鳥獣追加)
- (4) 捕獲推進対策補助金の交付
 - ・狩猟免許の取得に係る経費や有害鳥獣駆除の活動団体に対する助成
- (5) 鳥獣被害対策実施隊による被害対策活動(啓発活動、指導助言、応援等)
- (6) 被害状況の実態調査及び対策検討【新規】
- (7) 鳥獣害対策講演会の開催ほか

3 事業費

(1) 歳出額	84,900 千円
(2) 財源内訳	
・県支出金	25,063 千円
・一般財源	59,837 千円
(前年度当初予算額)	81,900 千円)
(今年度当初要求額)	87,135 千円)

担当課名	産業観光局農林水産部農林水産課
担当者名	課長 小坂 正樹
電 話	内線 4540
	直通 086-803-1346

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 日本遺産活用推進事業 拡充

1 事業の趣旨

古代吉備の遺産群を舞台とした桃太郎伝説が、日本遺産に認定されたことに伴い、そのストーリー及び構成文化財を活用し、国内外に魅力を発信し、地域の活性化を図ります(倉敷市、総社市及び赤磐市と共同で実施)。

2 事業内容

(1) 情報発信

- ・プロモーション映像をJR西日本管内主要駅等のビジョン等で放映
- ・パンフレット等について、多言語化するとともにWEBサイトへ掲載

(2) 普及啓発

- ・旅行商品造成のため、国内旅行者及び外国人旅行者に対しモニターツアーを実施

(3) 構成文化財の紹介

- ・日本遺産のストーリーを伝える統一的な看板を設置

(4) 人材育成

- ・ガイドの養成研修、ガイドマニュアルの作成

(5) 造山古墳ビジターセンターの整備【新規】

- ・日本遺産のストーリー等のガイドンスを行う施設の整備(施工床面積約132㎡)

3 事業費

(1) 歳出額 118,321 千円

(2) 財源内訳

- ・地方債 49,500 千円
- ・その他 23,900 千円
- ・一般財源 44,921 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

(今年度当初要求額 113,321 千円)

担当課名	プロモーション・MICE推進課	観光振興課
担当者名	課長 林原 瑞気	課長 小川 祥子
電 話	内線 4534	内線 4531
	直通 086-803-1333	直通 086-803-1332

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 中山間・周辺地域等稼ぐ力創出事業

1 事業の趣旨

中山間・周辺地域等において、地域の伝統産業や文化・産品などの地域資源を活かした「地域活力創出」などの、コミュニティビジネスを行う人材の育成や活動の支援を行います。

2 事業内容

(1) 地域活力創出担い手育成塾

- ・地域おこしのスペシャリストによる講演
- ・コミュニティビジネスに必要な基礎知識等に関する講習
- ・専門家による個別支援

(2) 地域活力創出事業補助金

- ・地域資源を活かした地域の活力創出に向けた事業の試行に対し補助金を交付

3 事業費

(1) 歳出額 11,500 千円

(2) 財源内訳

- ・国庫支出金 5,000 千円
- ・その他 1,500 千円
- ・一般財源 5,000 千円

(前年度当初予算額 9,000 千円)

(今年度当初要求額 11,500 千円)

担当課名	政策局政策部事業政策課
担当者名	課長 黒瀬 英昭
電 話	内線 3590
	直通 086-803-1042

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 地域の未来づくり推進事業

1 事業の趣旨

合併地域などの中山間・周辺地域において、持続可能な地域づくりを目的に、コミュニティビジネスの創出など様々な地域課題の解決に取り組む地域内外のNPO法人や企業、地域住民等に対する支援を行います。

2 事業内容

(1)活動計画づくりへの支援

- ・課題整理や体制づくりに関する支援
- ・専門家やアドバイザーの派遣

(2)地域の未来づくり推進事業補助金

- ・地域活力の創出や、生活機能・サービスの維持等の活動に対し補助金を交付

3 事業費

(1)歳出額 187,000 千円

(2)財源内訳

- ・その他 186,750 千円
- ・一般財源 250 千円

(前年度当初予算額 180,000 千円)

(今年度当初要求額 187,067 千円)

担当課名	政策局政策部事業政策課
担当者名	課長 黒瀬 英昭
電 話	内線 3590
	直通 086-803-1042

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 移住・定住の促進 **拡充**

1 事業の趣旨

全国の自治体が様々な移住・定住支援を進める中、本市の魅力を発信するため、移住・定住希望者に対するワンストップでの相談・支援のさらなる充実を図ります。

また、県や連携中枢都市圏の市町等と連携・協力し、東京での移住相談会の開催やメディアを活用した移住・定住に関連する情報発信をすることで、圏域への移住・定住を促進します。

2 事業内容

- ・市主催による東京、大阪での移住相談会の実施【拡充】
- ・移住下見ツアーの実施
- ・「おかやまぐらし移住の窓口」の活用
- ・移住支援に関する情報発信
- ・お試し住宅の提供(民間賃貸物件)
- ・企業面接に要する交通費補助
- ・県主催の移住相談会へ出展
- ・日常的な相談対応

3 事業費

(1)歳出額 43,700 千円

(2)財源内訳

・国庫支出金 3,924 千円

・その他 2,100 千円

・一般財源 37,676 千円

(前年度当初予算額 44,000 千円)

(今年度当初要求額 43,921 千円)

担当課名	市民協働局市民協働部市民協働企画総務課
担当者名	移住定住支援担当課長 藤原 亮
電 話	内線 3288
	直通 086-803-1335

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 移住支援金支給事業 新規

1 事業の趣旨

東京圏からのUJターン等の促進及び地方の担い手不足対策のため、国の地方創生推進交付金を活用し、東京圏からの移住者に対して移住に要する費用などを支援します。

2 事業内容

- ・対象者 以下の①から③の要件をすべて満たす者
 - ① 東京23区内在住者又は同23区への通勤者
 - ② 岡山市へ移住した者
 - ③ 中小企業等に就業又は起業した者
- ・支給額 100万円(単身の場合60万円)

3 事業費

(1)歳出額 12,200 千円

(2)財源内訳

・県支出金 9,150 千円

・一般財源 3,050 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

(今年度当初要求額 ー 千円)

担当課名	市民協働局市民協働部市民協働企画総務課
担当者名	移住定住支援担当課長 藤原 亮
電 話	内線 3288
	直通 086-803-1335

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 地域おこし協力隊事業 拡充

1 事業の趣旨

人口減少・少子高齢化の進行により、特に中山間・周辺地域では、地域活動を中心的に担う人材不足が懸念されていることから、「地域おこし協力隊」制度を活用し、三大都市圏をはじめとする都市地域から中山間・周辺地域等へ、地域活動を担う人材を受け入れ、地域の活性化や課題解決の取組を促進します。

2 事業内容

- ・現在導入されている御津・建部・牧山・千種地域の地域おこし協力隊の活動を支援
- ・中山間地域等を中心に導入地域の拡大を検討

3 事業費

(1)歳出額	48,800 千円
(2)財源内訳	
・一般財源	48,800 千円
(前年度当初予算額	40,000 千円)
(今年度当初要求額	49,450 千円)

担当課名	政策局政策部事業政策課	北区役所総務・地域振興課
担当者名	課長 黒瀬 英昭	課長 河本 文一
電 話	内線 3590	内線 4190
	直通 086-803-1042	直通 086-803-1655
担当課名	東区役所総務・地域振興課	
担当者名	課長 浅沼 弓子	
電 話	内線 72-211	
	直通 086-944-5006	

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 岡山西部総合公園(仮称)整備事業

1 事業の趣旨

岡山操車場跡地の「総合公園区域」について、市民が憩い、楽しむ、緑あふれる総合公園として、また、災害時には防災拠点となる防災公園として整備を行います。

2 事業内容

(1)期間 平成26年度～平成34年度

(2)事業経緯

- ・平成26年度 公園実施設計及び管理棟基本設計、用地取得
- ・平成27年度 管理棟実施設計、ASPO等解体、用地取得
- ・平成28年度 多目的広場整備、屋外便所整備、用地取得
- ・平成29年度 多目的広場周辺整備、用地取得
- ・平成30年度 エントランス及びイベント広場整備、用地取得

(3)平成31年度事業内容

- ・立体駐車場及び集中備蓄倉庫建設、公園整備、用地取得

3 事業費

(1)歳出額 1,630,000 千円

(2)財源内訳

- ・国庫支出金 750,000 千円
- ・地方債 733,200 千円
- ・一般財源 146,800 千円

(前年度当初予算額 1,490,000 千円)

(今年度当初要求額 1,631,219 千円)

担当課名	都市整備局都市・交通部庭園都市推進課
担当者名	課長 児子 憲人
電 話	内線 3681
	直通 086-803-1395

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 地域公共交通網形成計画策定事業

1 事業の趣旨

現在の岡山市は、人口増加と自動車利用を前提とした低密度で分散した都市構造となっているため、中心市街地の活力が低下しており、また、郊外部では路線バスの減便や廃止など公共交通の衰退により日常生活に必要な移動手段が失われつつあります。

こうした中、総合交通計画で定めた目標を実現するため、より具体的な施策や、そのスケジュールなどを示す「地域公共交通網形成計画」を策定します。

2 事業内容

- ・交通事業者等で構成する法定協議会の開催
- ・地域公共交通網形成計画の検討・策定

3 事業費

(1)歳出額 15,000 千円

(2)財源内訳

・一般財源 15,000 千円

(前年度当初予算額 3,000 千円)

(今年度当初要求額 15,000 千円)

担当課名	都市整備局都市・交通部交通政策課
担当者名	課長 山本 孝賢
電 話	内線 3620
	直通 086-803-1376

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 鉄道の利用環境改善(桃太郎線LRT化)

1 事業の趣旨

鉄道のLRT化、新駅設置、駅前広場整備などにより、鉄道の利用環境を向上させることで、自家用車から鉄道への転換を促し、過度なクルマ依存社会から、人や公共交通中心の社会への移行を目指します。

岡山市と総社市をつなぐ桃太郎線について、上記とともに周辺を含む沿線地域の活性化や観光振興を図ることを目的に、LRT化の検討を進めます。

2 事業内容

桃太郎線LRT化については、平成26年度から岡山市、総社市、JR西日本の三者が連携して本格的な検討を進めており、平成30年4月には、役割分担や費用負担の考え方について、三者で合意しました。

平成30年度からは、地域住民の方々をはじめ、広く市民のご意見を伺いながら基本計画の取りまとめを進めており、平成31年度は、整備計画(併用軌道区間等)の作成に加え、市民に桃太郎線LRT化をPRするための動画を作成し、その内容や必要性について周知していくこととしています。

- ・桃太郎線LRT化整備計画(併用軌道区間等)の作成
- ・桃太郎線LRT化PR用動画の作成

3 事業費

(1)歳出額 63,000 千円

(2)財源内訳

・国庫支出金 16,000 千円

・その他 5,000 千円

・一般財源 42,000 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

(今年度当初要求額 63,000 千円)

担当課名	都市整備局都市・交通部交通政策課
担当者名	課長 山本 孝賢
電 話	内線 3620
	直通 086-803-1376

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 路面電車のネットワーク化検討

1 事業の趣旨

路面電車の岡山駅前広場への乗入れと併せ、公共交通の利便性向上、中心市街地の回遊性の向上を図るため、路面電車のネットワークのあり方を検討します。

2 事業内容

- ・路面電車のネットワーク化の検討
- ・ネットワーク化後の需要予測
- ・基本計画素案の作成

3 事業費

(1)歳出額	10,000 千円
(2)財源内訳	
・一般財源	10,000 千円
(前年度当初予算額	10,000 千円)
(今年度当初要求額	10,000 千円)

担当課名	都市整備局都市・交通部交通政策課
担当者名	課長 山本 孝賢
電 話	内線 3620
	直通 086-803-1376

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 新たな生活交通の確保 拡充

1 事業の趣旨

周辺部での人口減少や高齢化が進行する中、公共交通が廃止されるなど公共交通不便地域が拡大しており、高齢者等の日常生活を支える移動手段の確保が大きな課題となっています。

このことから、鉄道やバスが利用しづらい地域を対象に、地域住民の日常生活に必要な新たな交通手段を確保する取組みを支援します。

2 事業内容

地域住民主体で地域ごとの特性に応じた生活交通の運行を計画し、試験運行を実施する中で、実際のニーズを把握し、運行改善を行いながら、本格運行を目指します。

(1)本格運行

灘崎地域迫川地区

(2)運行計画検討・試験運行

瀬戸地域千種地区、津高地域馬屋上・野谷地区、牧石学区牧山地区、
上道地域角山地区 他

3 事業費

(1)歳出額 11,000 千円

(2)財源内訳

・その他 2,000 千円

・一般財源 9,000 千円

(前年度当初予算額 8,000 千円)

(今年度当初要求額 11,172 千円)

担当課名	都市整備局都市・交通部交通政策課
担当者名	課長 山本 孝賢
電 話	内線 3620
	直通 086-803-1376

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 自転車先進都市の推進

1 事業の趣旨

誰もが自転車を“安全”で“便利”に“楽しく”使うことができる都市『自転車先進都市おかやま』の実現を目指し、平成24年8月に策定した「自転車先進都市おかやま実行戦略」に基づき、各種施策を推進していきます。

2 事業内容

(1) 自転車走行空間整備事業

中心部の道路において、路線の状況に応じた自転車走行空間の整備、路面の段差解消等を行います。

(2) 自転車駐車場整備事業

用地確保が困難な中心市街地における駐輪場整備促進策として、駐輪場を整備する事業者に対し建設費の一部を補助します。

(3) コミュニティサイクル事業

自転車やポートの必要な修繕等を行い、現在のサービス水準を維持するとともに、継続運用を行います。

(4) 自転車ルール・マナー関係事業

放置自転車防止啓発指導や、自転車の交通ルール・マナー向上に向けたイベント、街頭啓発活動を継続して実施します。

(5) サイクリングロード事業

吉備路自転車道の利用促進のため、サイクリングマップを更新します。

3 事業費

(1) 歳出額 292,187 千円

(2) 財源内訳

・国庫支出金 44,500 千円
・地方債 40,000 千円
・一般財源 207,687 千円

(前年度当初予算額 357,100 千円)

(今年度当初要求額 346,864 千円)

担当課名	交通政策課	道路港湾管理課	生活安全課
担当者名	課長 山本 孝賢	課長 大林 弘明	課長 力竹 孝典
電 話	内線 3620	内線 3660	内線 3240
	直通 803-1375	直通 803-1415	直通 803-1106

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 道路ネットワークの充実・強化

1 事業の趣旨

中心市街地への流出入交通を適切に分散・誘導し、渋滞解消、交通混雑の緩和に資する外環状道路・中環状道路の整備や、企業立地・物流などの経済活動、観光・コンベンションなどの広域交流を促進する環境を整えるため、高速道路等へのアクセス強化に引き続き重点的に取り組めます。

2 事業内容

(1) 中環状道路の整備

都市計画道路米倉津島線の平成32年度の事業化に向け、都市計画法に基づく手続きを行います。

(2) 広域交通網の整備

山陽自動車道吉備スマートインターチェンジの大型車対応、24時間化の事業化に向けた手続きを行うとともに、調査・設計等を行います。

3 事業費

(1) 歳出額 4,288,450 千円

(2) 財源内訳

・国庫支出金 2,248,800 千円

・地方債 1,794,100 千円

・一般財源 245,550 千円

(前年度当初予算額 4,010,000 千円)

(今年度当初要求額 4,329,250 千円)

担当課名	都市整備局道路部道路計画課
担当者名	課長 荒木 昭彦
電 話	内線 3640
	直通 086-803-1696

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 斎場整備事業

1 事業の趣旨

将来の火葬需要への対応や災害時等のリスク分散の観点などから、北区富吉での岡山北斎場整備に引き続き取り組みます。また、再整備後の旧東山斎場火葬棟の解体を行い、駐車場整備を行います。

2 事業内容

(1)岡山北斎場整備事業

岡山北斎場整備事業は、平成34年度の稼働に向けて整備を進めます。

(2)東山斎場再整備事業

東山斎場再整備事業は、平成31年2月の新火葬棟の供用開始に伴い、旧火葬棟を解体撤去し、跡地に斎場利用者の駐車場整備を進めます。

3 事業費

(1)歳出額 610,062 千円

(2)財源内訳

・地方債 436,600 千円

・一般財源 173,462 千円

(前年度当初予算額 2,077,800 千円)

(今年度当初要求額 614,240 千円)

担当課名	市民生活局市民生活部生活安全課
担当者名	斎場整備担当課長 梶家 薫
電 話	内線 3231
	直通 086-803-1467

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 岡山芸術交流2019 (Okayama Art Summit 2019)

1 事業の趣旨

岡山城・後樂園を中心とした歴史文化ゾーンにおける民間との協働による新たな魅力づくり、岡山市の新たな都市ブランドの構築及び若年層のまちづくり参加の促進等を目的に、世界からも注目を集める現代アート(コンテンポラリーアート)展として「岡山芸術交流2019」を開催します。

2 事業内容

(1)実施内容

○現代アート展の開催

「歩いて楽しむ」・「資源を活かす」・「世界を見る」・「人を育む」をコンセプトに、岡山城・後樂園周辺エリアの様々な歴史文化施設を会場として、世界的な現代アーティストの作品を展示

○関連事業の実施

鑑賞者の理解や参加を促すためのプログラム実施、より多くの子どもが芸術作品に触れる機会を増やすための教育機関との連携、国内外からの誘客を目指した情報発信などを実施

(2)開催日程 平成31年9月27日(金)～11月24日(日)

(3)開催場所 岡山城・天神山文化プラザ・旧内山下小学校など

(4)主 催 岡山芸術交流実行委員会

3 事業費

(1)歳出額 180,000 千円

(2)財源内訳

・国庫支出金 70,000 千円

・その他 10,000 千円

・一般財源 100,000 千円

(前年度当初予算額 25,000 千円)

(今年度当初要求額 180,000 千円)

担当課名	市民生活局スポーツ文化部文化振興課
担当者名	課長 佐藤 隆司
電 話	内線 3740
	直通 086-803-1054

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 岡山城の魅力アップ

1 事業の趣旨

再建50周年を迎えた岡山城天守閣等について、平成30年度に行った展示構想の策定やバリアフリー化の検討結果を踏まえ、今後改修に向け検討を進めるとともに、岡山城天守閣と烏城公園を一体的に管理し、城としての魅力を高めていきます。また、岡山後樂園等周辺施設との連携をさらに強化していきます。

2 事業内容

(1) 岡山城の新たな活用による魅力アップ事業

- ・耐震補強に伴う内装改修も含む基本設計の実施
- ・不明門の利活用

(2) 岡山城本丸と天守閣一体管理

- ・烏城公園(岡山城本丸)と天守閣を一体的に管理運営

(3) 岡山後樂園・岡山城等連携

- ・岡山後樂園と連携した事業や情報発信等を展開

3 事業費

(1) 歳出額 103,759 千円

(2) 財源内訳

- ・一般財源 103,759 千円

(前年度当初予算額 81,400 千円)

(今年度当初要求額 108,926 千円)

担当課名	産業観光局商工観光部観光振興課
担当者名	課長 小川 祥子
電 話	内線 4531
	直通 086-803-1332

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 「岡山歴史のまちしるべ」の設置事業

拡充

1 事業の趣旨

歴史・文化資産の由来等を明らかにすることで、市民、来訪者が歴史・文化に親しみ、楽しむ環境づくりを進めるとともに、各地域に埋もれている歴史・文化資産に光を当て、地域の魅力として未来に向けて継承、発展させます。

2 事業内容

(1) 地域の団体からの提案による「岡山歴史のまちしるべ」の設置

地域に点在する歴史文化資源を、地域からの提案により市で設置し、新たな歴史資源の掘り起しや歴史看板を活用した取り組みにつなげていきます。

(2) 総合案内板及びまちの成り立ちに関連する資源説明看板の設置

庭瀬、撫川、妹尾地区

(3) 「岡山歴史のまちしるべ」の翻訳【拡充】

既に設置されている「岡山歴史のまちしるべ」を、外国人観光客等へも利用してもらうため、盤面に掲載されている文章の翻訳(英語、中国語、ハングル)を実施します。

3 事業費

(1) 歳出額 18,900 千円

(2) 財源内訳

・一般財源 18,900 千円

(前年度当初予算額 17,500 千円)

(今年度当初要求額 18,900 千円)

担当課名	事業政策課	観光振興課
担当者名	課長 黒瀬 英昭	課長 小川 祥子
電 話	内線 3590	内線 4531
	直通 086-803-1042	直通 086-803-1332

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 岡山芸術創造劇場(仮称)の整備

拡充

1 事業の趣旨

岡山市民会館及び岡山市民文化ホールは、築後数十年が経過し、建物設備の老朽化、バリアフリー化未対応、耐震化の未実施などの課題を抱えています。両施設とも、市民にとって必要不可欠な施設であることから、現在、将来にわたって市民のニーズに応えることのできる「岡山芸術創造劇場(仮称)」の整備を進めています。

2 事業内容

- ・再開発事業により整備を進めている新劇場の保留床の取得
- ・新劇場の開設に向けて管理方法やプレ事業の実施などを検討【拡充】

3 事業費

(1)歳出額 2,086,281 千円

(2)財源内訳

・地方債 1,847,000 千円

・一般財源 239,281 千円

(前年度当初予算額 16,000 千円)

(今年度当初要求額 2,090,881 千円)

担当課名	市民生活局スポーツ文化部文化振興課
担当者名	課長 佐藤 隆司
電 話	内線 3740
	直通 086-803-1054

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 トップチーム支援事業

1 事業の趣旨

岡山市を拠点として活動するトップチーム(ファジアーノ岡山、岡山シーガルズ)は、市民の誇りとなり、また、その活躍が市の活力となることに鑑み、その存在がより幅広く市民に浸透していくよう、トップチームへの支援を実施します。

2 事業内容

- (1) ホームゲームのうち、年に1ゲームを「岡山市民デー(岡山市サンクスマッチ)」とし、各種イベントを実施します。
- (2) 「市民デー」開催にあたり、岡山市への転入者を対象とした特別招待枠を設定し、招待することで、岡山市への愛着心を育み、ファン層を拡大します。
- (3) トップチームの選手が、市内の小学生と一緒に給食を食べて体を動かす事業を実施し、「食べること」「動くこと」の大切さを啓発します。
- (4) 日本三名園のある地元自治体をホームタウンとするチームの対戦ゲームにおいて、「アラウンド・ザ・日本三名園」と銘打ち、三都市が連携して各種PRを実施します。
- (5) 岡山シーガルズが、ホームゲーム開催時、選手のユニフォームに「岡山市」のロゴを入れて出場します。

3 事業費

(1) 歳出額	7,000 千円
(2) 財源内訳	
・一般財源	7,000 千円
(前年度当初予算額)	9,000 千円)
(今年度当初要求額)	7,105 千円)

担当課名	市民生活局スポーツ文化部スポーツ振興課
担当者名	課長 船守 秀樹
電 話	内線 4740
	直通 086-803-1614

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 東京オリンピック・パラリンピック等の推進

拡充

1 事業の趣旨

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を来年に控え、全国各地で行われる事前キャンプ等を誘致することにより、岡山市のスポーツ振興、シティプロモーション、交流人口の拡大を目指します。

また、ブルガリア共和国をホストタウン相手国として、交流計画に基づく事業を展開し、スポーツの振興、文化教育の向上及び共生社会の実現を図ります。

2 事業内容

(1) キャンプ誘致活動の推進

岡山県と連携した補助制度を活用し、2020年東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプの誘致活動を進めます。ホストタウン相手国であるブルガリア共和国については、一層のキャンプ誘致が行えるよう、補助制度を拡充します。

主な内容: ナショナルチーム等キャンプ誘致推進事業補助金

オリンピック・パラリンピック競技のナショナルチーム等が行うキャンプ(市内施設・宿泊施設利用)に対し、国内交通費・宿泊費等を補助

(2) ホストタウン事業の展開

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、ブルガリア共和国を相手国としてホストタウン計画に基づく交流事業を展開し、スポーツの振興、文化教育の向上及び共生社会の実現を図ります。

また、ブルガリア共和国にゆかりのある人や日本人オリンピック・パラリンピアン等を招聘します。

3 事業費

(1) 歳出額 29,000 千円

(2) 財源内訳

・一般財源 29,000 千円

(前年度当初予算額 19,900 千円)

(今年度当初要求額 29,020 千円)

担当課名	市民生活局スポーツ文化部スポーツ振興課
担当者名	課長 船守 秀樹
電 話	内線 4740
	直通 086-803-1614

平成31年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 子育て環境の施設整備推進事業

1 事業の趣旨

幼稚園と保育所を一体化し、良質な就学前教育・保育を等しく提供できる子育て環境の確保を図ります。また、私立保育所等の新設整備等を実施する事業者に対し、施設整備の補助金を交付します。

2 事業内容

(1) 最適化に向けた施設整備・幼保一体化の推進

- ・平成31年度認定こども園整備対象園
鹿田認定こども園(仮称) 他7園
- ・市立施設の民営化に伴う施設整備に対する補助対象園
高島こども園(仮称)

(2) 私立保育所の施設整備補助

- ・整備施設数 私立保育所 (新設)2ヶ所、(老朽改修)4ヶ所
- ・保育定員増数 285人分

3 事業費

(1) 歳出額 3,914,200 千円

(2) 財源内訳

- ・国庫支出金 1,162,342 千円
- ・地方債 2,256,200 千円
- ・その他 2,330 千円
- ・一般財源 493,328 千円

(前年度当初予算額 3,713,800 千円)

(今年度当初要求額 3,961,218 千円)

担当課名	岡山っ子育成局保育・幼児教育部こども園推進課
担当者名	課長 田中 哲也
電 話	内線 4730
	直通 086-803-1430

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 保育士確保対策 **拡充**

1 事業の趣旨

待機児童の解消に向けて、拡大する受け皿に見合う保育士の確保がますます重要な課題になりつつあります。従来から取り組んでいる処遇改善事業等に加え、新たな保育士確保策を講じます。

2 事業内容

(1) 保育士宿舎借り上げ支援事業【新規】

新たに採用した保育士等を対象とする宿舎の借り上げを実施する事業者に対して、採用から3年間、宿舎借り上げに係る経費(月額60,000円を上限)の4分の3を補助します。

(2) 奨学金返済支援事業【新規】

民間の保育施設に新たに採用された保育士等に対し、採用から3年間、奨学金返済のための費用を補助します(月額10,000円を上限)。

(3) 民間保育士等処遇改善事業

民間保育士等を対象とする約2%(月額6,000円程度)の処遇改善を継続します。

(4) 保育支援者配置助成事業

私立保育園等において、給食や寝具の準備・片付けなどを行う「保育支援者」の配置に係る経費(月額90,000円を上限)を補助します。

(5) 保育士・保育所支援センター事業

保育士資格を持ちながら保育所等で働いていない「潜在保育士」の再就職支援等のため、保育士・保育所支援センター事業を行っています。

3 事業費

(1) 歳出額 340,134 千円

(2) 財源内訳

・国庫支出金 66,967 千円
・県支出金 16,000 千円
・一般財源 257,167 千円

(前年度当初予算額 207,600 千円)

(今年度当初要求額 66,334 千円)

担当課名	岡山っ子育成局保育・幼児教育部保育・幼児教育課
担当者名	課長 小林 芳由
電 話	内線 4720
	直通 086-803-1228

平成31年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 障害のある子どもの保育の質の向上 **拡充**

1 事業の趣旨

私立保育園等における障害児の受入れを促進するため、障害児保育に係る補助事業を新設・拡充します。

2 事業内容

(1) 障害児保育運営費補助事業 【拡充】

受け入れている障害児数に応じた現行の補助に加え、障害児保育のために加配した保育士数に応じた加算を新設することにより、私立保育園等における障害児の受入れ増を図ります。

(加配保育士数による加算の内容)

次に掲げる要件のいずれをも満たす場合、加配した保育士数に応じた額を加算

- ・障害児を2人以上受け入れている。
- ・障害児保育に専ら従事する保育士等を1人以上配置している。

(2) 医療的ケア児保育支援事業 【新規】

私立保育園等が、医療的ケア児(日常生活を営むために医療を必要とする状態にある障害児)を受け入れ、保育を実施するために必要な看護師等を配置するための経費を補助します。

また、医療的ケア児保育の実施園と協力して、未実施園を対象とする研修会等を開催し、医療的ケア児保育に関する理解の促進と知識の普及を図り、医療的ケア児の受入れ拡大を目指します。

3 事業費

(1) 歳出額 294,760 千円

(2) 財源内訳

- ・国庫支出金 3,063 千円
- ・県支出金 1,183 千円
- ・一般財源 290,514 千円

(前年度当初予算額 200,000 千円)

(今年度当初要求額 343,242 千円)

担当課名	岡山っ子育成局保育・幼児教育部保育・幼児教育課
担当者名	課長 小林 芳由
電 話	内線 4720
	直通 086-803-1228

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 放課後児童健全育成事業 拡充

1 事業の趣旨

保護者が労働等により昼間家庭にいない、小学校に就学している児童に対し、授業の終了後や長期休暇中等に適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図ります。

2 事業内容

- (1) 安定的な運営・サービス内容の格差解消のための新たな運営体制の準備 【新規】
- (2) 統一ルールを導入した児童クラブを平津小学校区において運営 【新規】
- (3) 児童クラブの円滑な運営とともに、必要な施設の整備を推進
- (4) 開所時間・開所日数の延長、長期休暇中の受け入れ、障害児の受け入れを推進
- (5) 安定的な人材確保のため、支援員の配置や賃金改善に要する費用を補助
- (6) 希望するすべての児童を受け入れるための施設の量の確保

3 事業費

(1) 歳出額 1,929,782 千円

(2) 財源内訳

- ・国庫支出金 722,964 千円
- ・県支出金 541,570 千円
- ・地方債 66,900 千円
- ・その他 600 千円
- ・一般財源 597,748 千円

(前年度当初予算額 2,049,500 千円)

(今年度当初要求額 2,073,585 千円)

担当課名	岡山っ子育成局子育て支援部地域子育て支援課
担当者名	課長 村松 弥生
電 話	内線 4761
	直通 086-803-1589

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 産後母子支援事業

新規

1 事業の趣旨

産後うつや新生児への虐待予防を図る観点から、産後も安心して子育てができるよう、出産後間もない時期の産婦に対する支援を強化します。

2 事業内容

(1)産婦健康診査事業

産婦に対する健康診査を公費負担し、母体の回復や精神状態を把握するとともに、適切な支援につなげます。

(2)産後ケア事業

産後に家族等から十分な支援が受けられない母子を対象に、産科医療機関等において心身のケアや育児のサポート等を提供します。

(3)助産師等による産婦訪問

育児不安を抱える産婦に対して、専門職が訪問し、心身のケアを行います。

3 事業費

(1)歳出額 48,900 千円

(2)財源内訳

・国庫支出金 22,349 千円

・一般財源 26,551 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

(今年度当初要求額 48,966 千円)

担当課名	保健福祉局保健福祉部保健管理課
担当者名	課長 花房 明彦
電 話	内線 5750
	直通 086-803-1251

平成31年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 困難を抱える子どもとその家庭への支援

拡充

1 事業の趣旨

子どもの将来がその生まれ育った環境に左右されることのないよう、また、困難が世代を超えて連鎖することのないよう、必要な環境整備を図ります。

2 事業内容

(1) 子どもの居場所立ち上げ支援事業【新規】

地域やNPO法人などが行う「子ども食堂」を始めとした子どもの居場所の立ち上げに必要な備品等の経費を補助します。

(2) 里親委託等家庭養護の推進

里親制度の普及啓発を行い、家庭養護の担い手となる里親の開拓を行います。
また、里親等の訪問支援や相互交流を実施することで、里親の養育技術向上のための支援を行います。

(3) オレンジリボンフォーラム開催事業

児童虐待防止について、市民に広く周知啓発を行うためのフォーラムを開催します。

3 事業費

(1) 歳出額 6,221 千円

(2) 財源内訳

・国庫支出金 1,966 千円

・一般財源 4,255 千円

(前年度当初予算額 2,860 千円)

(今年度当初要求額 7,928 千円)

担当課名	こども福祉課	こども総合相談所
担当者名	課長 大谷 哲子	所長 山本 忠司
電 話	内線 4781	内線 5592
	直通 086-803-1221	直通 086-803-2525

平成31年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 女性が輝くまちづくり事業

拡充

1 事業の趣旨

女性の力が社会の中で最大限に発揮できる環境づくりを進めるため、性別にかかわらず市民一人ひとりの個性が社会のあらゆる場面でいかされる男女共同参画社会の実現に向けた取組等に加え、女性の活躍を応援する取組を進めます。

2 事業内容

(1) 女性活躍推進「見える化」事業

- ・企業向けシンポジウムの開催及び女性活躍「見える化」ブースの設置【拡充】
- ・シンポジウム内容の新聞掲載
- ・認証企業ロゴマーク作成と制度等の普及啓発【新規】

(2) 市内企業で働く女性活躍プログラム

- ・管理的立場で活躍することへの意識付けとスキルを学ぶ講座

(3) 働く女性のためのライフプランセミナー開催事業【新規】

- ・退職要因となるライフイベントを控えた女性に対して、自身のライフプラン構築支援と管理職を目指して働くメリットを学ぶ講座

(4) 女性の再就職支援事業【拡充】

- ・働きたい女性の再就職促進のための支援講座及びインターンシップの開催

(5) 男性管理職セミナー開催事業

- ・男性管理職等を対象とした企業におけるワーク・ライフ・バランスや女性活躍の意義や効果を学ぶ講座

(6) 大学生のためのキャリア形成応援事業

- ・大学生を対象としたワーク・ライフ・バランスに対する意識形成を支援するための出前講座

3 事業費

(1) 歳出額 14,760 千円

(2) 財源内訳

・一般財源 14,760 千円

(前年度当初予算額 16,000 千円)

(今年度当初要求額 14,760 千円)

担当課名	市民協働局市民協働部女性が輝くまちづくり推進課
担当者名	課長 逢澤 正男
電 話	内線 3735
	直通 086-803-1115

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト 拡充

1 事業の趣旨

大学生の人口比率が高い岡山市の強みをいかして、大学生が、若者ならではの柔軟な発想と行動力の下、新たな商品やサービス等の開発を目指すスモールビジネスや地域課題の解決を目指すソーシャルビジネスにチャレンジする取組みを支援します。

また、新たな組織を設立し、活動を支援していきます。各支援を通じて学生への魅力を高め、学生に選ばれるまちを目指します。

2 事業内容

(1) 学生イノベーションチャレンジ推進コンソーシアムの設立 【新規】

○市、大学、経済団体、学生代表等で構成

(2) 学生イノベーションチャレンジ推進事業補助金の創設

○スモールビジネス・ソーシャルビジネスへのチャレンジに係る費用を助成

・学生ジョイントグループ部門(複数大学の学生からなるグループ)【新規】

・学生ソログループ部門(単一大学の学生からなるグループ)【拡充】

3 事業費

(1) 歳出額 7,200 千円

(2) 財源内訳

・国庫支出金 3,600 千円

・一般財源 3,600 千円

(前年度当初予算額 3,600 千円)

(今年度当初要求額 7,238 千円)

担当課名	政策局政策部政策企画課
担当者名	地方創生・政策調整担当課長 折口 範昭
電 話	内線 3584
	直通 086-803-1043

平成31年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 学力向上・魅力ある授業づくり推進事業

拡充

1 事業の趣旨

学力調査等の結果を効果的に活用するなど、子どもたちの主体的で深い学びの実現に向けて、よりよい授業づくりを進めるとともに、教育環境の整備を行うことで確かな学力の育成を目指します。

2 事業内容

(1) 学力向上推進プロジェクト

・岡山市学力アセス

学力アセスの結果分析をもとに、教員の授業改善や児童生徒の学習改善を図ります。

・学力・学習状況調査の活用

結果分析をもとに、よりよい授業づくりを推進し、家庭学習の充実を図ります。

・家庭学習の支援【拡充】

中学校に加え小学校に教育支援(自主学習)ソフトを導入し、補充学習支援を行います。

(2) 新学習指導要領実施に伴うICTを活用した教育の推進【新規】

普通教室等においてICTを活用した各教科の授業を実施するとともに、ICT活用研究校における授業研究を推進します。

(3) 英語教育推進事業

小学校の外国語活動や中学校の英語の授業に外国語指導助手を派遣します。

(4) 特色ある学校教育活動推進事業

地域協働学校(コミュニティスクール)の設置を推進します。

3 事業費

(1) 歳出額 285,400 千円

(2) 財源内訳

・国庫支出金 1,745 千円

・一般財源 283,655 千円

(前年度当初予算額 208,300 千円)

(今年度当初要求額 286,000 千円)

担当課名	教育委員会事務局学校教育部指導課
担当者名	課長 松岡 和俊
電 話	内線 3840
	直通 086-803-1590

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 問題行動等の防止及び解決に向けた総合支援事業

1 事業の趣旨

子どもたちが安心して学校生活を送ることができるように、支援を必要とする児童生徒やその保護者に対して、相談や援助を行います。

2 事業内容

(1) 共に成長しあう学級集団づくり推進事業

学校生活への適応感を質問紙を用いて把握し、学級づくりに活用します。

(2) 特別支援教育支援員配置事業

障害のある児童生徒のために、学習・移動支援などで学校生活をサポートします。

(3) 不登校児童生徒支援員配置事業

不登校の未然防止を図るため、通学支援や別室登校の児童生徒に対する支援を行います。

(4) スクールカウンセラー配置事業

いじめ、暴力行為、不登校などの課題に対して、児童生徒や保護者が相談しやすい体制を充実します。

3 事業費

(1) 歳出額 427,400 千円

(2) 財源内訳

・国庫支出金 39,829 千円

・一般財源 387,571 千円

(前年度当初予算額 441,800 千円)

(今年度当初要求額 428,794 千円)

担当課名	教育委員会事務局学校教育部指導課
担当者名	教育支援担当課長 服部 道明
電 話	内線 3840
	直通 086-803-1592

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 適応指導教室整備事業

1 事業の趣旨

不登校及びその傾向のある児童生徒の学校復帰を目指して、教育相談及び様々な体験活動や学習支援等の指導を行う適応指導教室を南区に整備します。

2 事業内容

各区ごとに適応指導教室を整備し、指導員、相談員等を配置し、個に応じた指導・支援の体制を整備します。

平成30年度から中央卸売市場に暫定的に設置している南部適応指導教室を平福コミュニティハウスとの複合化により移転整備します。平成31年度は用地購入・実施設計を行います。

○適応指導教室の整備状況

- ・トラングル一宮
- ・ラポート牧山
- ・あおぞら操山
- ・すまいる瀬戸
- ・南部適応指導教室

○スケジュール

平成33年度 開設予定

3 事業費

(1)歳出額 53,100 千円

(2)財源内訳

- ・地方債 47,700 千円
- ・一般財源 5,400 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

(今年度当初要求額 53,290 千円)

担当課名	教育委員会事務局学校教育部指導課
担当者名	教育支援担当課長 服部 道明
電 話	内線 3840
	直通 086-803-1592

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 教職員の働き方改革事業

1 事業の趣旨

教職員の事務を補助する学校業務アシスト職員、部活動指導員の配置により教職員の負担を軽減させ、教育環境の向上を図ります。

2 事業内容

(1) 学校業務アシスト事業

アシスト職員を学校規模に応じ配置し、教職員の業務のうち印刷、授業準備補助などの事務を支援することで、子どもと向き合う時間を確保します。

(2) 部活動指導員配置事業

専門的技術指導を行う部活動指導員を配置し、部活動顧問が指導に従事する時間の縮減を図ります。また、部活動指導員を配置していない顧問の学校事務を分担し、市全体の部活動顧問時間を縮減します。

○部活動指導員

運動部 年間100日程度

文化部 年間40日程度

3 事業費

(1) 歳出額 93,700 千円

(2) 財源内訳

・国庫支出金 30,767 千円

・一般財源 62,933 千円

(前年度当初予算額 93,800 千円)

(今年度当初要求額 102,434 千円)

担当課名	教育委員会事務局教職員課	教育委員会事務局保健体育課
担当者名	課長 奥橋 健介	課長 山田 裕史
電 話	内線 3830	内線 3851
	直通 086-803-1586	直通 086-803-1594

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 公民館整備・耐震化事業

1 事業の趣旨

「岡山市有建築物の耐震化計画指針」に基づき、耐震診断の結果、耐震基準を満たしていない公民館の整備及び公民館分館の耐震化を実施します。

2 事業内容

(1) 上道公民館建設事業

上道公民館を上道地域センターとの複合化により移転整備します。

○スケジュール

平成31年度 用地購入・実施設計

平成34年度 開館予定

(2) 公民館分館耐震改修事業

耐震診断結果に基づき、木造の建物で倒壊の危険性があり緊急性を要する公民館分館10館の耐震改修工事を行います。

3 事業費

(1) 歳出額 294,580 千円

(2) 財源内訳

・地方債 272,400 千円

・一般財源 22,180 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

(今年度当初要求額 295,007 千円)

担当課名	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習課
担当者名	課長 石井 敏郎
電 話	内線 3860
	直通 086-803-1606

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 SDGs未来都市・岡山ESDプロジェクト推進事業 拡充

1 事業の趣旨

岡山市が「SDGs未来都市」に選定されたことを受け、市域全体におけるSDGsに対する理解を深め、SDGs推進のための新たな実践行動へとつなげていくため、関連組織等と連携してSDGsの学びの場や機会を設けるなど、SDGsの達成に向けた取組を推進します。

また、地域特性を踏まえたSDGsの達成のため、岡山ESD活動のより一層の推進を図ります。

2 事業内容

(1)「SDGsフェスタ ～持続可能な消費と生産～」の開催

「持続可能な消費と生産」をテーマとするSDGsイベントを開催

(2) SDGs達成に向けた国際会議(第10回教師教育国際会議)の開催

アジア地域の教育関係者による各国の取組などを学び合う国際会議を開催

(3)「SDGsフォーラム」の開催

ステークホルダーがSDGsの目標達成のための取組などを学び合うフォーラムを開催

(4) ESD推進のため、普及啓発・情報発信・活動支援などを実施

- ・岡山ESDプロジェクト助成金
- ・ESD岡山アワードの実施 など

(5) ESD世界会議から5年目を節目とした記念事業を実施

- ・第10回教師教育国際会議の開催(再掲)
- ・岡山ESDフォーラム2019の開催
- ・ESDブルガリア交流事業の実施

3 事業費

(1) 歳出額 34,930 千円

(2) 財源内訳

- ・県支出金 2,000 千円
- ・一般財源 32,930 千円

(前年度当初予算額 30,610 千円)

(今年度当初要求額 35,074 千円)

担当課名	市民協働局市民協働部ESD推進課
担当者名	課長 小川 卓志
電 話	内線 3761
	直通 086-803-1351

平成31年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 区まちづくり独自企画事業

1 事業の趣旨

区役所が主体となって身近なまちづくりや地域課題の解決に取り組むために、区長会議などで施策等を企画調整しながら、各区のまちづくりを推進します。

身近な地域課題である防災や区制10周年などをテーマに、区民の力を活かしたまちづくりを進めます。

2 事業内容

(1) 北区役所

- ・地区の防災訓練
- ・地域資源掘り起し事業

(2) 中区役所

- ・区制施行10周年「中区防災力強化事業」
- ・地域の大学と区役所の包括連携による地域づくり事業

(3) 東区役所

- ・「地域おこし協力隊と考える地域づくり」シンポジウム開催事業

(4) 南区役所

- ・地域防災力強化事業
- ・区制施行10周年「南区今昔物語創作事業」

3 事業費

(1) 歳出額 10,000 千円

(2) 財源内訳

・一般財源 10,000 千円

(前年度当初予算額 10,000 千円)

(今年度当初要求額 10,000 千円)

担当課名	北区役所総務・地域振興課	中区役所総務・地域振興課
担当者名	課長 河本 文一	課長 重河 啓子
電 話	内線 4190	内線 71-212
	直通 086-803-1655	直通 086-901-1601
担当課名	東区役所総務・地域振興課	南区役所総務・地域振興課
担当者名	課長 浅沼 弓子	課長 石原 加恵
電 話	内線 72-211	内線 73-310
	直通 086-944-5006	直通 086-902-3500

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 岡山市・サンホセ市姉妹都市締結50周年記念事業

1 事業の趣旨

岡山市とコスタリカ共和国・サンホセ市は昭和44年(1969年)1月に姉妹都市締結をして以来、10年毎の周年時に市民訪問団の相互派遣や、教育分野を重点とした交流などを行ってきました。

平成31年に50周年の節目を迎えることから、記念事業として、サンホセ市からの訪問団の受け入れやサンホセ市を紹介するパネル展を開催し、半世紀にわたる交流の足跡を振り返るとともに、これらの事業を契機として今後の継続的な交流の促進を図ります。

2 事業内容

(1) サンホセ市公式訪問団の受け入れ

- ・歓迎レセプション
- ・市内視察
- ・市内高校生との文化交流など

(2) サンホセ・パネル展の開催

- ・サンホセ市のPRなど

3 事業費

(1) 歳出額 1,387 千円

(2) 財源内訳

・その他 1,387 千円

(前年度当初予算額 3,938 千円)

(今年度当初要求額 1,387 千円)

担当課名	市民協働局市民協働部国際課
担当者名	課長 竹林 靖哲
電 話	内線 3250
	直通 086-803-1112

平成31年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕

健康づくりと生涯活躍推進事業

拡充

1 事業の趣旨

「AIを活用した市民の将来疾病リスクの見える化」、「SIB[※]手法を活用したヘルスケア産業による生活習慣病対策サービスの創出と市民の利用促進、生涯活躍のための就労支援」を一体的に行うことで、“健康の好循環”を促進します。

※SIB(ソーシャル・インパクト・ボンド)・・・民間事業者が、出資・融資等の資金調達により事業実施し、事前に定めた成果指標の達成状況に応じて市が事業費を支出するもの。

2 事業内容

(1) 期間 平成30年度～平成34年度

(2) 事業内容

○ AIを活用した健康見える化事業・糖尿病肥満対策事業

- ・AIで国保の健診データを解析し、一人ひとりに適した具体的な生活習慣改善メニューの提示と保健指導を実施
- ・糖尿病肥満対策事業では、肥満を伴う糖尿病患者に対し、生活改善指導プログラムを作成

○ SIBを活用した健康ポイント事業

- ・市民の健康づくり活動の習慣化を促進するため「運動」「栄養・食生活」「社会参加」に関するサービスを提供し、各サービスの参加に対し、インセンティブとしてポイントを付与

○ SIBを活用した生涯活躍就労支援事業

- ・民間就労支援機関、社会福祉協議会、NPO等を通じた高齢者等の就労等支援
- ・就労先企業等・就労希望者の募集及び実施体制の整備

3 事業費

(1) 歳出額 198,548 千円

(2) 財源内訳

- ・国庫支出金 84,274 千円
- ・その他 30,000 千円
- ・一般財源 84,274 千円

(前年度当初予算額 10,000 千円)

(今年度当初要求額 198,548 千円)

担当課名	国保年金課	保健管理課	地域包括ケア推進課
担当者名	課長 小野 伸一	課長 花房 明彦	課長 岸川 和忠
電 話	内線 5970	内線 5750	内線 5980
	直通 803-1136	直通 803-1250	直通 803-1246

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 フレイル対策事業 新規

1 事業の趣旨

高齢者がフレイル(虚弱)期を経て要介護状態になる前に、個々の状態に応じた介護予防支援策に結びつけ、高齢者の健康寿命の延伸を目指します。

2 事業内容

- ・要介護状態となる前の高齢者を対象として、介護予防教室や医療機関など身近な場所でフレイルチェック(身体的な虚弱度の判定)を実施
- ・専門職が結果説明や助言・指導等を実施
- ・フレイルチェックの結果を基にデータ分析を行い、今後の介護予防施策に活用

3 事業費

(1)歳出額 4,900 千円

(2)財源内訳

- ・国庫支出金 1,225 千円
- ・県支出金 612 千円
- ・その他 2,450 千円
- ・一般財源 613 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

(今年度当初要求額 10,000 千円)

担当課名	保健福祉局高齢福祉部地域包括ケア推進課
担当者名	課長 岸川 和忠
電 話	内線 5980
	直通 086-803-1246

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 在宅介護総合特区推進事業

拡充

1 事業の趣旨

在宅に特化した総合特区を推進し、将来負担の抑制・産業振興・地域包括ケアの実現を目指すとともに、超高齢社会における持続可能な社会経済モデルの構築を進めます。

2 事業内容

(1) デイサービス改善インセンティブ事業【拡充】

通所介護事業所の介護サービスを評価し、利用者の状態の維持改善を図る事業所を表彰します。奨励金については、状態の維持改善を一層推進する観点から、金額の一部を見直します。

(2) 介護機器貸与モデル事業

在宅で生活する人の自立につながる介護機器を1割負担で貸与します。

(3) 訪問介護インセンティブ事業【新規】

訪問介護事業所の介護サービスを評価し、利用者の状態の維持改善を図る事業所を表彰します。

(4) 介護ロボット普及推進事業【新規】

職員の負担軽減等のため、介護事業所に介護ロボットを無料で貸与します。

3 事業費

(1) 歳出額 84,323 千円

(2) 財源内訳

・国庫支出金 16,014 千円

・県支出金 38,007 千円

・その他 14,795 千円

・一般財源 15,507 千円

(前年度当初予算額 49,300 千円)

(今年度当初要求額 84,323 千円)

担当課名	保健福祉局保健福祉部医療政策推進課
担当者名	課長 西 謙一
電 話	内線 5820
	直通 086-803-1636

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 成年後見中核機関運営事業

新規

1 事業の趣旨

誰もが地域で安心して生活ができる地域共生社会の実現を目指し、成年後見制度が必要な人の利用を促進するための中核的な支援機関を整備・運営します。

2 事業内容

(1) 内容

「成年後見制度利用促進基本計画」(平成29年3月閣議決定、計画期間:平成29年度～平成33年度)に基づき、権利擁護支援を担う地域の関係機関・団体や家庭裁判所と協議を行い、成年後見制度の利用支援(相談支援・後見受任者調整会議・後見人支援等)のための中核となる機関の運営を行います。

(2) スケジュール

平成31年度: 中核機関の設置・運営に向けた準備等

平成32年度: 中核機関の本格運用

市町村計画の策定(平成33年施行)

3 事業費

(1) 歳出額 9,600 千円

(2) 財源内訳

・一般財源 9,600 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

(今年度当初要求額 15,985 千円)

担当課名	保健福祉局保健福祉部福祉援護課
担当者名	課長 河田 俊介
電 話	内線 5450
	直通 086-803-1216

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 小児遠隔健康医療相談事業

新規

1 事業の趣旨

UHC^{*}の実現や子どもを持つ親の不安解消、不必要な医療提供の削減と医療費削減による市民・企業の負担軽減に向けて、遠隔健康医療相談を実施します。

※UHC(ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ)・・・

全ての人が適切な保健・医療サービスを、支払可能な費用で受けられる状態

2 事業内容

- ・0歳児(第1子)の子どもを持つ保護者が、子どもの体調や受診の必要性などについて、通常の外来受診時間が終わった後の時間帯(18時～22時)に直接スマートフォンにより小児科医に相談できる事業を実施します。
- ・継続的な相談により子どもの健康・医療に関する知識を増やしていくことで、医療にかかる上で必要な判断力を向上させます。

3 事業費

(1)歳出額 4,500 千円

(2)財源内訳

・一般財源 4,500 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

(今年度当初要求額 6,131 千円)

担当課名	保健福祉局保健福祉部医療政策推進課
担当者名	課長 西 謙一
電 話	内線 5820
	直通 086-803-1636

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 心身障害者医療費助成事業

拡充

1 事業の趣旨

障害者福祉の増進のため、心身障害者の通院・入院に係る医療費が原則1割負担となるよう助成を行います。

2 事業内容

(1) 身体障害者及び知的障害者への助成

身体障害者手帳1～3級所持者、重度の知的障害者を対象に医療費の助成を行います。

(2) 精神障害者への助成の追加等(制度改正) 【新規】

平成31年12月から以下の制度改正を行うため、システム改修や関係機関への周知等を行います。

・助成対象に精神障害者保健福祉手帳1級及び自立支援医療(精神通院)受給者証を合わせて持つ人を追加します。

・身体障害、知的障害、精神障害のいずれの方についても、精神疾患による入院は1年を超えない期間を助成対象とします。

3 事業費

(1) 歳出額 1,262,221 千円

(2) 財源内訳

・一般財源 1,262,221 千円

(前年度当初予算額 1,235,299 千円)

(今年度当初要求額 1,244,584 千円)

担当課名	保健福祉局保健福祉部医療助成課
担当者名	課長 戸取 幸子
電 話	内線 5720
	直通 086-803-1219

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 ふれあい収集事業 拡充

1 事業の趣旨

家庭から発生する可燃ごみ、不燃ごみ、資源化物等を、指定した曜日・時刻に自ら所定の集積場まで排出することが困難な要介護者、障害者を対象に、自宅の玄関先等から戸別収集を行います。

2 事業内容

(1) 対象者

下記のいずれかに該当する者のみの世帯において、世帯員自らごみの排出が困難で親族・近所等の協力が得られない世帯

- ・視覚障害又は肢体不自由障害2級以上の者
- ・介護保険の要介護2以上の認定を受けている者

※平成31年度夏頃から、要介護2以上を要介護1以上に対象を拡大予定

(2) 収集するごみの種類

一般家庭から排出される可燃ごみ、不燃ごみ、資源化物、廃乾電池、体温計等

3 事業費

(1) 歳出額 1,400 千円

(2) 財源内訳

・一般財源 1,400 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

(今年度当初要求額 3,600 千円)

担当課名	環境局環境部環境事業課
担当者名	課長 岡崎 道徳
電 話	内線 3970
	直通 086-803-1298

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 防災・減災対策事業

拡充

1 事業の趣旨

平成30年7月豪雨の教訓を踏まえ、自助・共助・公助の強化・充実のため、平時から市と市民が一体となった防災・減災対策に取り組みます。

2 事業内容

(1) 自主防災組織等育成事業

○新たな自主防災組織等の結成促進・活動支援【新規】

自主防災組織の結成手続きの簡易化や、防災資機材等の現物給付から補助制度への見直し、助成額の引き上げ等により、各地域での自主防災組織等の結成や活動を促進し、平成31年度中に自主防災組織率100%の達成を目指します。

○防災まちづくり学校【拡充】

講座をこれまでの1コースから、受講目的・対象者に応じた7コースに再編し、地域での防災活動活性化をサポートします。

○防災士養成講座

地域防災リーダー養成のため、町内会役員や公民館職員等を対象に講習を行います。

(2) 洪水・土砂災害ハザードマップ更新事業

避難所や避難経路等の情報が分かりやすくなるよう、ハザードマップの改訂を行います。

(3) 災害対応に係る体制整備事業【拡充】

災害対応に従事する職員の装備品(ゼッケン、ライフジャケット)や避難所に配置する物品(拡声器、照明装置等)を充実させ、災害対応に係る体制を強化します。

3 事業費

(1) 歳出額 382,150 千円

(2) 財源内訳

・一般財源 382,150 千円

(前年度当初予算額 12,338 千円)

(今年度当初要求額 38,180 千円)

担当課名	危機管理室	危機管理室
担当者名	地域防災担当課長 倉橋 正浩	危機管理担当課長 三谷 史孝
電 話	内線 5854	内線 5850
	直通 086-803-1082	直通 086-803-1082

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 下水道・河川による浸水対策事業

拡充

1 事業の趣旨

平成30年7月豪雨による浸水被害を踏まえ、下水道や河川の整備を進めるとともに、既存ストックを活用した対策や、市民、事業者と連携した総合的な浸水対策に取り組めます。

2 事業内容

(1) 計画的な下水道施設・河川施設の整備

・ 今保排水区ポンプ場整備事業

ポンプ場(2ヶ所)の整備に向けて、測量・地質調査を行います。

・ 排水機場整備事業

植松地区:建設工事 藤田錦地区:詳細設計、用地取得

・ 横井、津島排水区浸水対策検討

現地調査、現況水路の流下能力の調査などを行います。

(2) 既存ストックの活用、機能保全強化

・ 排水機場の機能保全強化事業

保守点検強化、監視カメラの設置検討、操作員の安全対策を実施します。

(3) 市民・事業者の自助・共助の促進、意識啓発による地域防災の推進

・ 浸水(内水)ハザードマップの見直し

平成30年7月豪雨での浸水区域や浸水の深さを反映します。

・ 止水板設置助成事業【新規】

浸水被害防止・軽減のための設置費用を一部助成(補助率1/2、補助上限額50万円)

3 事業費

(1) 歳出額 1,691,920 千円

(2) 財源内訳

・ 国庫支出金 529,700 千円
 ・ 地方債 853,300 千円
 ・ 一般財源 308,920 千円

(前年度当初予算額 917,100 千円)

(今年度当初要求額 1,797,876 千円)

担当課名	下水道河川局下水道経営部下水道河川計画課
担当者名	課長 山川 圭一
電 話	内線 4970
	直通 086-803-1499

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 農林水産業施設等の復旧・防災力強化

拡充

1 事業の趣旨

平成30年7月豪雨による甚大な被害を受け、災害復旧事業に加え、排水機場等の浸水対策への取組強化や緊急性を要する施設の老朽化対策工事等、総合的な防災対策に取り組めます。

2 事業内容

(1) 災害復旧事業の実施

- ・農業施設補助災害復旧事業(三挺堰、明星堰、中井手堰)
- ・治山施設災害復旧事業(22ヶ所)
- ・牧山クラインガルテン復旧事業

(2) 緊急性を要する防災対策工事の実施(旭川合同用水老朽化対策)

(3) 排水機場の機能保全・強化【拡充】

- ・安全対策調査、保守点検及びカメラ設置等による監視連絡体制の強化
- ・排水系統の調査及び排水施設の機能強化

(4) ため池等の点検調査、ハザードマップ作成等

(5) 農業災害対策資金保証料の助成

3 事業費

(1) 歳出額 721,664 千円

(2) 財源内訳

- ・県支出金 161,753 千円
- ・地方債 124,900 千円
- ・その他 40,630 千円
- ・一般財源 394,381 千円

(前年度当初予算額 82,848 千円)

(今年度当初要求額 752,457 千円)

担当課名	農林水産課	農村整備課
担当者名	課長 小坂 正樹	課長 西野 篤範
電 話	内線 4540	内線 4570
	直通 086-803-1346	直通 086-803-1348

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 消防防災体制の強化事業 拡充

1 事業の趣旨

平成30年7月豪雨における水防活動の検証を踏まえ、消防職団員の安全を確保しながら、効果的に水防活動を実施するため、水防活動用資機材等を充実させ、消防防災体制の強化を推進し、市民の安全・安心を確保します。

2 事業内容

水防活動用装備品、資機材等の拡充

・無線機、ライフジャケット、胴付長靴、検索棒など

3 事業費

(1)歳出額 30,300 千円

(2)財源内訳

・一般財源 30,300 千円

(前年度当初予算額 3,821 千円)

(今年度当初要求額 113,966 千円)

担当課名	消防局消防総務部消防企画総務課
担当者名	課長 上田 匡
電 話	内線 3770
	直通 086-234-9970

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 緊急情報伝達手段の整備事業

1 事業の趣旨

大規模自然災害が発生したときに、避難行動の遅れ等で多数の死傷者が発生しないよう情報伝達手段の充実を図ります。

2 事業内容

(1) 防災行政無線の機器更新等に係る実施設計

- 防災行政無線の機器更新等に係る実施設計
- 各エリアに緊急情報を伝達する統合卓の整備(システムの再構築)
- 老朽化した機器の更新
 - ・各エリアの操作卓の更新
 - ・防災行政無線(屋外スピーカーの受信機等)の更新

(2) 平成31年度に結成した自主防災組織等に対する緊急告知ラジオの配備

3 事業費

(1) 歳出額 157,800 千円

(2) 財源内訳

- ・地方債 156,800 千円
- ・一般財源 1,000 千円

(前年度当初予算額 8,300 千円)

(今年度当初要求額 167,000 千円)

担当課名	危機管理室
担当者名	危機管理担当課長 三谷 史孝
電 話	内線 5850
	直通 086-803-1082

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 本庁舎等整備基本計画策定事業

1 事業の趣旨

本庁舎は建設から約50年が経過し、耐震基準も満たしておらず、老朽化が進んでいます。災害対応の中心となる防災拠点として整備するだけでなく、行政サービスの向上と事務の効率化を図るため、建替えによる整備を進めます。

2 事業内容

○庁舎及び周辺施設整備のための基本計画の策定

- ・配置計画、空間構成の検討
- ・市民窓口や防災拠点などの機能別整備計画の検討
- ・構造、設備計画等の検討
- ・駐車場等の周辺施設整備計画の検討
- ・想定規模の算定、概算事業費の試算

3 事業費

(1)歳出額	27,000 千円
(2)財源内訳	
・一般財源	27,000 千円
(前年度当初予算額)	14,000 千円)
(今年度当初要求額)	27,000 千円)

担当課名	総務局総務部庁舎管理課
担当者名	課長 田淵 康弘
電 話	内線 4420
	直通 086-803-1152

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 消防署所適正配置事業

拡充

1 事業の趣旨

増加する救急需要と多様化する各種災害に的確に対応するため、消防力のバランスに配慮した適正な場所に消防署所を配置、維持管理し、いついかなる時も、求める人すべてに等しく、より安心で質の高い消防サービスを提供します。

2 事業内容

消防局総合計画(消防署所適正配置)に基づき、以下の消防署所の整備を行います。

(1) 中消防署旭東出張所を中区倉田地内に新築移転します。

平成30年度:用地購入、地質調査、実施設計等

平成31年度:建築

平成32年度:運用開始

(2) 南消防署を南区浦安南町地内に新築移転します。【新規】

平成30年度:基本構想、基本計画作成

平成31年度:用地購入、基本設計、実施設計等

平成32～33年度:建築

平成34年度:運用開始

3 事業費

(1) 歳出額 857,800 千円

(2) 財源内訳

・地方債 747,600 千円

・一般財源 110,200 千円

(前年度当初予算額 78,598 千円)

(今年度当初要求額 861,590 千円)

担当課名	消防局消防総務部消防企画総務課
担当者名	課長 上田 匡
電 話	内線 3770
	直通 086-234-9970

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 市場耐震改修整備事業

1 事業の趣旨

岡山市中央卸売市場(以下「市場」という。)において、地震による建築物の倒壊等の被害から市場関係者の生命、身体及び財産を保護し、災害に強い市場を実現するため、現行の耐震基準を満たしていない卸売棟の耐震化を引き続き行います。

2 事業内容

(1) 概要

青果卸売棟及び水産卸売棟の耐震改修工事を引き続き行います。

(2) 改修整備スケジュール

平成27年度	水産卸売棟耐震診断
平成28年度	青果卸売棟耐震診断
平成29年度	耐震改修設計
平成30・31年度	耐震改修工事

3 事業費

(1) 歳出額 211,184 千円

(2) 財源内訳

・国庫支出金	70,394 千円
・地方債	140,700 千円
・一般財源	90 千円

(前年度当初予算額 244,000 千円)

(今年度当初要求額 211,184 千円)

担当課名	市場事業部
担当者名	事業担当課長 藤原 一範
電 話	内線 3084
	直通 086-265-8001

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 水道施設・管路耐震化等更新事業

1 事業の趣旨

水道水の安定供給はもとより、南海トラフ巨大地震に備えた対策を進めることで、災害被害の極小化と最低限の給水量確保を図ります。

2 事業内容

(1) 老朽化した管路の更新

- ・老朽管更新延長:24km
- ・半田山線(北区学南町～大供本町)のシールドトンネル築造工事

(2) 災害時に拠点となる施設へ至る管路の耐震化

- ・病院、学校へ至る路線の管路を更新・耐震化

(3) 新規の給水申込みに伴う管路の整備

(4) 下水道など公共施設の整備に伴う管路の移設

(5) 浄水場・ポンプ場などの電気・機械設備の更新

- ・矢原浄水場非常用発電機設置工事
- ・三野浄水場次亜塩貯留タンク工事

(6) 老朽化した瀬戸地区大内浄水場の再編

(7) 岡山地区工業用水道施設及び管路の更新

3 事業費

(1) 歳出額 7,556,000 千円

(2) 財源内訳

- ・国庫支出金 47,357 千円
- ・地方債 1,500,000 千円
- ・その他 1,221,680 千円
- ・一般財源 4,786,963 千円

(前年度当初予算額 7,209,000 千円)

(今年度当初要求額 7,685,289 千円)

担当課名	水道局総務部経営管理課
担当者名	課長 石井 昌生
電 話	直通 086-234-5914

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 下水道施設の耐震化・再構築(リノベーション)事業

1 事業の趣旨

市民生活に重大な影響を及ぼす下水道施設の機能停止などを未然に防止するため、下水道施設の改築更新、耐震化を行います。また、将来の改築事業費の削減等を図るため、施設の統廃合など下水道施設の再構築(リノベーション)を進めます。

2 事業内容

(1) 南海トラフ巨大地震の発生に備え、地震対策を推進

老朽化した処理場・ポンプ場設備の更新及び建屋の耐震補強工事を進めます。
対象施設: 笹ヶ瀬ポンプ場、岡東ポンプ場、岡東浄化センター、岡南ポンプ場

(2) 大規模災害時の避難所等における衛生環境の確保

・災害用マンホールトイレ整備事業

災害時の避難所用トイレとして、マンホールトイレを設置します。
平成31年度は、災害時に避難所となる市内小学校でモデル的に1ヶ所整備します。

(3) 下水処理場の統廃合

下水道施設の維持管理及び改築更新に要するコスト縮減のため、芳賀佐山浄化センター及び流通団地浄化センターを廃止し、児島湖流域浄化センターへ統合します。
児島湖流域下水道浄化センターへ送水するための接続幹線の整備を進めます。

3 事業費

(1) 歳出額 3,139,153 千円

(2) 財源内訳

・国庫支出金 1,073,735 千円
・地方債 1,927,300 千円
・一般財源 138,118 千円

(前年度当初予算額 3,611,933 千円)

(今年度当初要求額 3,797,353 千円)

担当課名	下水道河川局下水道経営部下水道河川計画課
担当者名	課長 山川 圭一
電 話	内線 4970
	直通 086-803-1499

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 Net119緊急通報システム整備事業

新規

1 事業の趣旨

会話に不自由な聴覚・言語機能障害者が、スマートフォン等を用いて、いつでも全国どこからでも音声によらない緊急通報ができるシステムを導入します。

2 事業内容

- ・聴覚・言語機能障害のある市民が、他市町村の消防本部の管轄区域でも安心して緊急通報ができるように体制を整備
- ・他市町村の消防本部で登録した聴覚・言語機能障害者が来岡した際の緊急通報を受付け救急対応等を行うことができる体制を整備

3 事業費

(1)歳出額	3,671 千円
(2)財源内訳	
・一般財源	3,671 千円
(前年度当初予算額)	— 千円)
(今年度当初要求額)	3,671 千円)

担当課名	消防局警防部情報指令課
担当者名	課長 境 由夫
電 話	内線 3774
	直通 086-253-9982

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕

PA連携活動高度化推進事業

拡充

1 事業の趣旨

心肺停止疑い傷病者に対する救急隊とポンプ隊の連携活動(PA連携)の見直しを行い、救命率の向上を目指します。

※PA連携・・・消防ポンプ車(Pumper)と救急車(Ambulance)が連携して救急活動を行うこと。

2 事業内容

(1) 出動体制の見直し

心肺停止疑い傷病者の救急要請時に、消防隊員を増員して対応を強化します。

(2) 活動内容の見直し

消防隊員の増員により、早期に必要な救命処置を行う活動、現場滞在時間の短縮、不安を抱える関係者(家族等)に対するフォローアップ体制を充実させます。

3 事業費

(1) 歳出額 7,287 千円

(2) 財源内訳

・一般財源 7,287 千円

(前年度当初予算額 3,887 千円)

(今年度当初要求額 7,410 千円)

担当課名	消防局警防部救急課
担当者名	課長 摺河 祐司
電 話	内線 3778
	直通 086-235-9977

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 第48回全国消防救助技術大会事業

新規

1 事業の趣旨

消防救助隊員の育成を目的として、全国の消防救助隊員が一堂に会し、救助技術を競う全国大会を開催します。

昭和47年度から毎年度、主に政令市で開催されており、岡山市では初開催です。

2 事業内容

(1) 概要

全国9地区の地区指導会を突破した消防救助隊員が陸上8種目、水上8種目(技術訓練を含む。)において、技術を競います。

(2) 主催等

主催: 一般財団法人全国消防協会

主管: 岡山市消防局

(3) 開催日程

平成31年8月25日(日)

(4) 開催場所

陸上の部会場: 岡山市消防教育訓練センター

水上の部会場: 岡山市立市民温水プール

(5) 参加人員

参加隊員・消防長・来賓: 約2,300人

3 事業費

(1) 歳出額 26,895 千円

(2) 財源内訳

・一般財源 26,895 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

(今年度当初要求額 27,505 千円)

担当課名	消防局消防総務部消防企画総務課
担当者名	課長 上田 匡
電 話	内線 3770
	直通 086-234-9970

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 防犯カメラ設置支援事業

新規

1 事業の趣旨

町内会等の各地域団体が実施する防犯カメラの設置に対し、その費用の一部を補助することにより、安全で安心なまちづくりを推進します。

2 事業内容

(1) 補助対象団体

町内会等の住民団体

(2) 補助対象経費

防犯カメラの購入(賃借を含む)及び設置工事等に要する経費

3 事業費

(1) 歳出額 16,297 千円

(2) 財源内訳

・一般財源 16,297 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

(今年度当初要求額 60,297 千円)

担当課名	市民生活局市民生活部生活安全課
担当者名	課長 力竹 孝典
電 話	内線 3240
	直通 086-803-1106

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 ブロック塀安全対策事業 拡充

1 事業の趣旨

地震発生時にブロック塀が倒壊することにより生じる人的被害や、通行阻害を防止するため、ブロック塀の撤去費用の助成を行うとともに、市有施設のブロック塀の安全対策を早急に進めます。

2 事業内容

(1) 民間所有のブロック塀等撤去助成【新規】

通学路等の市が指定する路線に面している塀の撤去費用を助成します。

(2) 市有施設のブロック塀対策

保育園、スポーツ施設、コミュニティハウスなど市有施設のうち、建築基準法不適合なブロック塀の撤去、改修を行います。

※小中学校・幼稚園は国補正予算対応のためH30年度予算へ前倒し計上予定

3 事業費

(1) 歳出額	15,000 千円	(民間施設助成)
	196,058 千円	(市有施設改修)

(2) 財源内訳

・国庫支出金	7,500 千円	(民間施設助成)
・国庫支出金	8,978 千円	(市有施設改修)
・地方債	89,300 千円	(市有施設改修)
・一般財源	105,280 千円	

(前年度当初予算額) ー 千円)

(今年度当初要求額) 445,225 千円)

担当課名	建築指導課	財産活用マネジメント推進課
担当者名	課長 大月 宏行	課長 佐々木 素子
電 話	内線 4610	内線 4430
	直通 086-803-1443	直通 086-803-1150

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 地球温暖化対策推進事業

1 事業の趣旨

国民運動「COOL CHOICE(賢い選択)」と連携し、あらゆる世代に対して地球温暖化防止への意識の醸成を図るとともに、市民・事業者と協働してZEH(※)の促進など省エネルギーの取組みを行うことにより、環境にやさしいライフスタイルへの転換を目指します。

※ZEH(ゼッチ)【ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス】

建物の断熱性を高め、創エネ機器と省エネ機器を利用することで、「快適な室内環境」と「住宅のエネルギー消費量が正味で概ねゼロ」を同時に実現する住宅

2 事業内容

(1) スマートエネルギー導入促進事業(住宅用、事業所用)

低炭素社会の実現に向け、市内の住宅・事業所への創エネ、省エネ、蓄エネ機器の導入に対し補助を行います。

(2) 市民と連携した低炭素社会の実現に向けた普及啓発事業

・COOL CHOICE普及啓発事業

省エネ住宅セミナー、SNSを活用した情報発信などを通じて、市民への普及を図ります。

3 事業費

(1) 歳出額 280,712 千円

(2) 財源内訳

・県支出金 20,959 千円

・その他 7,840 千円

・一般財源 251,913 千円

(前年度当初予算額 308,200 千円)

(今年度当初要求額 287,275 千円)

担当課名	環境局環境部環境保全課
担当者名	課長 榎尾 卓己
電 話	内線 3990
	直通 086-803-1282

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 ごみ処理広域化対策事業

1 事業の趣旨

玉野市、久米南町と連携し、岡山市が主体となり広域的なごみ焼却施設の建設を進めます。

平成27年3月に岡山ブロック(岡山市・玉野市・久米南町)ごみ広域処理基本計画を策定しました。平成29年3月に岡山ブロックで事務の委託に関する協定を締結し、建設候補地(岡山市南区豊成一丁目4-1)を平成30年8月に決定しました。平成37年度の施設稼働を目指します。

2 事業内容

(1)内容

ごみ処理広域施設の整備に向けて、地元説明、施設整備計画の策定、環境アセスメントや地質調査・測量等を実施します。

(2)期間

平成26年度～平成37年度

(3)実施主体

岡山市(玉野市及び久米南町から事務委託)

3 事業費

(1)歳出額 69,300 千円

(2)財源内訳

・国庫支出金 22,888 千円
・地方債 11,100 千円
・その他 34,921 千円
・一般財源 391 千円

(前年度当初予算額 440 千円)

(今年度当初要求額 69,641 千円)

担当課名	環境局環境施設部環境施設課
担当者名	課長 福林 繁
電 話	内線 3980
	直通 086-803-1311

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 ごみ処理施設運營業務の効率化

1 事業の趣旨

東部クリーンセンターについて、運転管理のほか、用役品調達や設備の維持補修などの業務を長期包括委託することにより、運営コストの削減と予算の平準化を図ります。

2 事業内容

(1) 内容

東部クリーンセンターの運営について、長期的・包括的に業務委託を行います。

(2) 期間

平成32年度～平成39年度

(3) その他

平成32年度からの事業実施に向けて、平成31年度は発注仕様書等の作成及び事業者選定を実施します。

3 事業費

(1) 歳出額 6,000 千円

(2) 財源内訳

・一般財源 6,000 千円

(前年度当初予算額 13,000 千円)

(今年度当初要求額 6,000 千円)

担当課名	環境局環境施設部環境施設課
担当者名	課長 福林 繁
電 話	内線 3980
	直通 086-803-1311

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 下水道未普及対策推進事業

1 事業の趣旨

岡山市の汚水処理人口普及率は82.8%(下水道処理人口普及率66.8%)であり、未だに全国平均汚水処理人口普及率(90.9%)を下回っており、多くの市民が汚水処理施設を利用できない状況にあります。このため、未普及地区の早期解消に向け、概ね10年間の整備計画であるアクションプランに基づき、計画的な下水道の整備に取り組めます。

2 事業内容

(1)新たに着手する地区の未普及対策推進事業

高松、吉備津地区:幹線管きょ延伸のための詳細設計及び敷設工事を実施します。

牟佐地区:幹線管きょ延伸のための基本設計及び土質調査等を実施します。

(2)既に着手している地区の未普及対策推進事業

庭瀬、撫川、尾上、津高、今在家、藤崎、東平島地区など、市街地における下水道管きょ整備を進めます。

3 事業費

(1)歳出額 5,254,179 千円

(2)財源内訳

・国庫支出金 714,502 千円

・地方債 4,218,600 千円

・一般財源 321,077 千円

(前年度当初予算額 5,248,033 千円)

(今年度当初要求額 5,254,179 千円)

担当課名	下水道河川局下水道経営部下水道河川計画課
担当者名	課長 山川 圭一
電 話	内線 4970
	直通 086-803-1499

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 合併処理浄化槽設置補助金事業

1 事業の趣旨

健康で快適な暮らしや良好な水環境の保全を図るため、自宅に合併処理浄化槽を設置する個人に対して補助金を交付します。

2 事業内容

(1) 補助対象区域

- ・ 下水道計画区域外
- ・ 下水道が当面整備予定がない区域

(2) 補助内容

- ・ 合併処理浄化槽の新設に対する補助
5人槽 332千円 など
- ・ 既存住宅での汲取り便所・単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への設置替えに対する補助
5人槽 415千円 など

3 事業費

(1) 歳出額 428,820 千円

(2) 財源内訳

- ・ 国庫支出金 154,590 千円
- ・ 一般財源 274,230 千円

(前年度当初予算額 431,606 千円)

(今年度当初要求額 428,820 千円)

担当課名	環境局環境部環境保全課
担当者名	課長 榎尾 卓己
電 話	内線 3990
	直通 086-803-1294

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕

G20保健大臣会合開催事業

新規

1 事業の趣旨

平成31年10月19日・20日に開催されるG20岡山保健大臣会合について、会合の成功に向けた開催支援及び市民・県民への開催機運の醸成に向けて、協議会主催の各種イベントを開催するとともに、岡山の強みである保健・医療の取り組みや、歴史・文化・食など岡山の持つ多彩な魅力を、広く国内外に発信します。

2 事業内容

(1) 主催イベント

- ・半年前イベント、子ども主体のイベント、サイドイベント
- ・海外プレスツアー、大使館職員視察受入
- ・開催地主催歓迎レセプション

他

(2) その他

- ・岡山の保健医療の目指す姿の策定

3 事業費

(1) 歳出額 47,700 千円

(2) 財源内訳

・一般財源 47,700 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

(今年度当初要求額 50,670 千円)

担当課名	政策局G20保健大臣会合推進室
担当者名	担当課長 岩田 修
電 話	内線 3511
	直通 086-803-1422

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 政令指定都市移行10周年・市制施行130周年記念式典 新規

1 事業の趣旨

政令指定都市移行10周年並びに市制施行130周年の節目に当たり記念式典を開催し、市勢発展に貢献のあった方に感謝状を贈呈します。

2 事業内容

(1)開催日程

・平成31年6月1日(土)

(2)開催場所等

・岡山シンフォニーホール

・式典

・感謝状贈呈等

3 事業費

(1)歳出額 8,600 千円

(2)財源内訳

・一般財源 8,600 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

(今年度当初要求額 9,627 千円)

担当課名	市長公室秘書課
担当者名	課長 吉澤 史郎
電 話	内線 3310
	直通 086-803-1023

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 市民サービス拠点の整備

1 事業の趣旨

市民サービスの拠点となる区役所等の施設について、地域のまちづくりや防災の拠点として持続的なサービスが提供できるよう、市有施設等との複合化や建替えなどにより、効率・効果的な整備を進めます。

2 事業内容

(1) 市民サービス拠点整備事業

旧耐震基準で建築された支所・地域センター等の耐震改修設計を行います。

(2) 一宮地域センター整備事業

一宮地域センターを一宮公民館の敷地内に公民館との併設により整備します。

(3) 児島地域センター整備事業

児島地域センターを現在地で建替え整備します。

(4) 上道地域センター整備事業

上道地域センターを上道公民館との複合化により移転整備します。

3 事業費

(1) 歳出額 120,000 千円

(2) 財源内訳

・地方債 107,500 千円

・一般財源 12,500 千円

(前年度当初予算額 115,500 千円)

(今年度当初要求額 120,311 千円)

担当課名	市民生活局市民生活部区政推進課
担当者名	課長 竹本 泉造
電 話	内線 3750
	直通 086-803-1033

平成31年度当初予算(案)主要施策・事業補足資料

〔事務事業名〕 市税所得課税証明書コンビニ交付対応事業

新規

1 事業の趣旨

市民の利便性の向上を図るために、全国のコンビニエンスストア等で市税の所得課税証明書を交付できるようにします。

2 事業内容

(1) 交付対象

市民税・県民税(所得・課税・控除)証明書

(2) 交付場所

全国のコンビニエンスストア等(約53,000か所)

(3) 交付時間

6:30~23:00(年末年始等を除く)

(4) 交付方法

マイナンバーカードを利用して、コンビニエンスストア等のマルチコピー機から交付

3 事業費

(1) 歳出額 41,340 千円

(2) 財源内訳

・一般財源 41,340 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

(今年度当初要求額 57,181 千円)

担当課名	財政局税務部税制課
担当者名	課長 山本 晃
電 話	内線 4245
	直通 086-803-1166